

れきみんだより

平成 22 年 5 月 21 日(金)

仙台市歴史民俗資料館

館長 土岐山 武

教師用 NO. 2



新学習指導要領の趣旨を生かすために 歴史民俗資料館の活用を！

榴ヶ岡公園は桜の季節が終わりを迎え、まさに躑躅（つつじ）の季節を迎えております。
さて、新学習指導要領第 1 節第 3 学年及び第 4 学年の目標と内容 第 3 章「各学年の目標及内容」内
容（5）では、

（5）地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽した先人の働きや苦心をかんがえるようにする。

となっており、「実際の指導に当たっては」では、

『社会科を学習する児童にとって初めての歴史的な内容であることに配慮し、見学や体験を取り入れるなど、学習が具体的に展開できるようにする必要がある。例えば、地域の博物館や郷土資料館などにある昔の道具を観察したり、…略… する活動が考えられる。』

とあります。

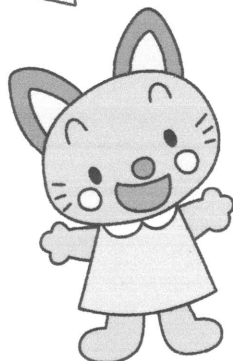
仙台市歴史民俗資料館はまさにこの学習を展開するのにふさわしい資料を備えております。
昔の道具やそれを使っていたころの暮らしの様子を調べることによって、

子供たちに当時の人々の技や知恵を考えさせることができます。

人々が受け継いできた文化財や年中行事を知ることによって、

当時の人々の思いや願いにふれさせることができます。

歴民は社会科における
「生きる力」をはぐくま
せるのに役立ちますよ！



当館は、この他にも、子供たちの学習に必要な情報や実物資料をたくさん提供することができます。どうぞ、お気軽にご相談、お問い合わせいただき、子供たちに実物に触れる機会をもたせるため、当館をご活用ください。

見学や体験
を取り入れ
ることが大
切なのね！



仙台市歴史民俗資料館

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-7

TEL 022-295-3956 FAX 022-257-6401

URL <http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/>

Eメール folk muse@deluxe.ocn.ne.jp